

ノルウェー西部ベルゲンで9日、グリーグ国際ピアノコンクールの最終選考が行われ、本校26期卒業生の高木竜馬さんが優勝されました。最終選考ではロシア、チェコの男性ピアニスト2名との競演となりましたが、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を演奏された高木さんに栄冠が輝きました。

高木さんは、現在ウィーン国立音楽大学とイモラ国際ピアノアカデミーに在籍されています。2016年のローマ国際ピアノコンクールに続く優勝に、「とても幸せな時間でした。これからも観客に音楽を届けるという意識を心がけて演奏したい」と述べられています。

同コンクールは、ノルウェーを代表する作曲家エドバルド・グリーグの名前を冠しており、2000年に開始、12年からは2年に一度開かれていて、今年で16回目となります。

